

病害虫防除技術情報第13号

平成 23 年 11 月 17 日
三重県病害虫防除所

冬キャベツの黒腐病が多発しています

- 1 対象作物 : 冬キャベツ
- 2 対象病害虫名 : 黒腐病
- 3 発生状況 : やや多い
 - 1) 11 月上旬の巡回調査圃場では、発病株率は 12.7% (平年 3.8%)、発病度 3.5 (平年 1.0) と、平年に比べて多い状況です (表)。
 - 2) 一般圃場での発生量は、平年よりもやや多い状況です。本圃定植以降の台風や降雨があったこと、平年より気温が高かったこと等が影響し、発病が拡大したと思われます。

表 . 黒腐病の発生状況

調査年	発病株率	発病度
本年	12.7%	3.5
平年	3.8%	1.0

各圃場 50 株を調査。

平年は過去 10 年間の平均値。

- 4 防除上の注意事項
 - 1) 薬剤による予防防除が基本です。発生が目立つ圃場では、収穫までの日数に注意して、被害の拡大防止のため防除を実施してください。
 - 2) 土壌中の病原菌が雨滴や灌水の跳ね返りによって葉に飛散し感染するため、風を伴う降雨の後などは速やかに薬剤防除を行ってください。
 - 3) 薬剤防除の際は展着剤を加用し、下葉にもよくかかるよう丁寧に散布してください。
 - 4) 葉の傷から病原菌が侵入します。感染防止のため、葉を食害するチョウ目害虫等の防除も重要です。
 - 5) 土壌伝染するため、発病株は翌年の伝染源となります。被害残渣は圃場外に持ち出し、適切に処分してください。
 - 6) 多発圃場では、アブラナ科野菜の連作は避けてください。
 - 7) 品種によって発病程度の差があります。発病が懸念される圃場では、耐病性品種を選定してください。
 - 8) 農薬は、ラベルの表示を確認して適切に使用してください。